

平成30年度 岡山大学大学院法務研究科
法学既修者入試A日程 試験問題

公 法 系（憲法）

<解答上の注意>

1. この問題冊子は、表紙を含め2枚である。
2. 配点は、50点である。
3. 表裏に解答欄がある解答用紙は、1枚が配布されている。
4. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を算用数字で記入し、また試験科目欄に「公法系」と記入すること。なお、整理番号等その他の記入欄には記入しないこと。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
6. 解答の際は、黒又は青のボールペンを使用すること。
7. 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないこと。
8. その他は、すべて監督者の指示に従うこと。

【問題】

職業選択の自由（憲法第 22 条第 1 項）に対する各種規制の合憲性について、①具体例を挙げて、最高裁判所が示した合憲性判断の枠組みを説明し、②これに対するあなた自身の見解を述べなさい。

《公法系問題 以上》

【出題意図】

本問は、職業選択の自由に対する各種規制の合憲性という基本的な論点について問うことで、判例の理解を含めて、基礎的な知識の有無を測ることを目的としていた。